第70号 1909. 3. 30.

（一） 第七十號 明治四十二年三月三十日 火曜日 日曜及祭日の翌日休刊 日刊 明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●東朝鮮の漁業（下）

「方魚津方面の繁昌」

方魚津は蔚山灣の北角と蔚崎燈竿との間にある一小港灣にして韓人家僅に四十五戸に過ぎざる一寒村なれども鰯漁場の中心點に當り且つ沿岸根據地中最も沖合に位置して漁場への往來便なるが故に漁季中始終漁船の繫留するもの多く二三年前までは九龍浦甘浦、太邊浦等の如く寂寥たる漁村に過ぎざりしも前記運搬機關の進歩と蔚山灣の發展に伴ひ今季忽ち在留邦人の戸數五十四戸人口百六七十人に達する一大漁村を現出せり、此地外來の邦人は春夏より秋冬にかけ裸潛業者、鰮詰製造業者、煮干鰯製造業者、雜貨商、鍋延縄業者、鯖流網業者、鯖曳網業者、飲食店營業者及び呉服商、其他床屋湯屋、雜業者等にして就中今季繁榮の中心となりしは飲食店營業者にして約三十戸あり内單に飲食物を供するものは僅に七八戸にして其他は專ら醜業婦を置き漁夫の慰中を慾るを目的とし此韓醜業婦の數百〇五名に達せり昨年十一月中旬よりの收得高一戸一千二三百圓乃至二千圓に及び昨今までの總額五萬圓を下らざるべしと云ふ而して彼等は本月下旬今季の終漁と共に何れも釜山絶影島に引揚げ春漁期を俟ちて更らに羅老島或は秋子島方面の南韓漁場に出没し終年鰯流網漁業者の慰中を狙ふ害生虫なり右の浮動的營業者以外の雜業者中稍や健全なる永住計となすものは雜貨商五戸あり漁期中一ヶ月の賣揚高三千圓を最高とし一千圓乃至一千五百圓を普通とせり錫屋は四戸あり何れも一夜二圓五十錢乃至三圓の收入あり男女床屋六人雜業者十戸許りにして今季各飲食店及各漁船より他の營業者に落ちたる總金額は約三四萬圓に達し昨年漁期中漁船より陸上に吸收したる金額は約三萬圓なりしが本年は之れに倍加して約六萬圓に上りたりと云ふ

「漁業者風俗の類變」

秋冬の兩季方魚津に集合する漁業者は主に香川、岡山兩縣の鰯流網の漁夫にして其數約一千人に達し二十年來韓漁通漁を專業として漁場の掛引は容易に新來者の企及する所にあらず隨つて從業者の權利は自ら發達し船内の組織は總て個人本位となれり近來運搬機關の發達と魚類需用の增進とは年一年魚價を昂進して三四年前に比して數倍に騰り一方漁場は又年々擴張せられ漁期は次第に延長せられつゝあると共に漁夫の收入は自然增進しつゝあると共に金錢の順調なるに連れ只さへ墮落し易き彼等間に誘惑機關は備はり釜山よりは賭博を本業とする不良の徒入込みて盛んに賭博を奬めたれば溺れ易くとして之に耽り業を怠り或は酒色に沈溺し果ては生命をもなすべき漁船に賭し漁具を與するに至るもの尠しとせず本年は蔚山警察署の取締嚴重を極め陸上に屢々大檢舉あり居留民は互に自戒して盛なる賭博を見るに至らず醜業婦には一週一回の健康診斷を勵行したれば或程度まで害毒傳染を減じたるやと雖も水上警察の施設なきを以て漁船内の大賭博は依然公聲、聞いても觀保とする、頭て千葉村の忠藏が

「オーイ、皆な鎭まれね、宗吾郎どんが御來になつた、……コラ、一同しづまれよウ、いま俺が宗吾どんを同道して來たぞ」と云ふと、「ソレ、公津の宗吾どんが來たぞ」と、一同が喜んで関の聲を揚げた、宗吾は其喜ばれる度毎に、身が縮むばかり「ア、斯りや、一同のため、何うしても決心しなければなるまいか」と思ひました、そこで宗吾は、「さつ、私の考へ通りになされたら、如何なものでございませう ○「そりや道理な話でがす △「それは宜うがすが、併し江戸表へ金一年が二年なら、三年かゝらうとも、江戸表の殿樣へ御願ひ申して、此佐倉御領分の百姓が、御仁政の下に働くことの出來るやう、御奮發願ひを致すより外に途はあらまいす、斯うやつて將門山へ集り、毎日さわぐと雖も益なき話だに依て、希か是は一村々總代抽籤で、其抽籤に當つた者は、假せるやうに先方が圖つたからで、決して貴下方が等閑の譯でございませぬ、是非に及ばぬ事でございます、併し此上は致方がないと云つて、佐倉の城へ押寄せるのも、亦穩かでないと思ふ、元來江戸の殿樣何事にも御存知ないのだから、先づ私の考へでは

「オイ、皆な鎭まれね、宗吾郎どんが御來になつた、……コラ、一同しづまれよウ、いま俺が宗吾どんを同道して來たぞ」と云ふと、「ソレ、公津の宗吾どんが來たぞ」と、一同が喜んで関の聲を揚げた、宗吾は其喜ばれる度毎に、身が縮むばかり「ア、斯りや、一同のため、何うしても決心しなければなるまいか」と思ひました、そこで宗吾は、「さつ、私の考へ通りになされたら、如何なものでございませう ○「そりや道理な話でがす △「それは宜うがすが、併し江戸表へ金一年が二年なら、三年かゝらうとも、江戸表の殿樣へ御願ひ申して、此佐倉御領分の百姓が、御仁政の下に働くことの出來るやう、御奮發願ひを致すより外に途はあらまいす、斯うやつて將門山へ集り、毎日さわぐと雖も益なき話だに依て、希か是は一村々總代抽籤で、其抽籤に當つた者は、假

●貰いたいこと

於龍山 露城生

余は一日京城に遊よべく自宅を出た、久しぶりに例の汚ない電車に乘つた、昨冬から本春にかけて、線路の高低や其屈曲を直した勢いか、又た自分の運が好かつたのか知らんが、兎に角〈電車の進行が頗る速くなり、変更點に於ける待合せも今迄よりは遥かに少くなつて、殆んどないと云ふても好いことは事實である、元町なる本願寺の前から南大門驛前まで十七八分だつた、これならドウカコウか我慢の出來んこともない意々斯うなると、車体の粗造と汚ないのが苦になる、文明國のコールブラン先生も、除程韓國化して是れが見ないとするならば奪ろ憐むべしであるが、若しそうでないとすれば、此の邊は敢てコールブランでなくても、せめて透明な日本酒的に奮發して貰らいたい。

▲反省せよ

と思ひつゝ南大門を過ぎて見ると、未だ朝市が盛であつた、理事廳の前を尚ほ前進して、〇〇〇〇に寄つた、韓國に於ける〇〇界の覇王として、自他ともに信ずる同店だけに、不相變店内は客人を以て埋められてあつた、覇王として誇るだけに、又た一の弊は免れないと見ゐる、自分は欲する一二點を求めて出たが、兎に角〈同店の店員諸君は、何れも不親切で高ぶる樣ふに見ゐたモ少し懇切に其の商人的行動で、振らないで客に接して貰いたいと感じられた、そこに行つては、同じ覇王を以て任ずる南店でも、三越呉服店の店員諸士は實に親切で、高ぶらない、實に客に對しては忠實なものだ、あれでこそ眞の商人所謂商業道德の何物かを自覺して遺憾なしと云ふのであらう、斯う云ふと三越から何か頂戴したやうに思ふか知らんが、決して其等の心配には及びません。

佐倉宗吾

（四十一） 眞龍齋貞水講演

また中には「だからな、彼の時、三浦の旦那どんと、公津の宗吾どんが、事を分けて

しやるか聡かしてくらつせね 甲「エーツ、それは後で聡かせるから、其方へ引込んでねろ……爾う出張りや成らねだよ……何だつて働なんて振廻す、危ねねだよ……コラ、竹の先へ鎭なんて付けて、振廻すでねねだ、危ねねだ、其方へ往かつしやい……皆な鎭まつてくらつせね」七十有餘の總代の名主が、皆な其處へ集つて來まして宗吾の周圍を取捲いて「さて公津の宗吾どん、とんでもねね事に成りやした、私等が不屈から、城代女將どんの逆鱗に觸つて、印形は捺きましたが、是から向う三ヶ年、二割增の萬石の百姓に、行き立つ譯いもいませぬ、何如したら宜からう、希か宗吾どん、智慧を貸してくらつせね」と涙を流しながら、名々に段々ちが寄れば、有繋の宗吾郎しばらく頭を下げ「さて御一同、貴下方が印形つかつてたのも、捺かの御決心が出來たら、村々御百姓衆に、其事を云ふてくらつせね △「ハア宜うございます……如何かねハア其方の方は ○「それ道理でございますで、爾う御願ひの申しませう、あんでもハア、宗吾どんの云はつしやる通りした方が、マア穩かで濟むでございませう、名々が得心しましたから、それぞれ其事を、百姓衆一同に云ひ聞かして下さい、水知しました」と云ふので、皆な自分の居村の小前の百姓に向ひまして「さて此度江戸表へ往つて御願ひ申なし、以前の御仁政に立戻るやう、御願ひを上げて見やうと思ふ、固より一年かゝるか、二年かゝるか、三年に成るか分らぬが、れ前等は一生懸命、農業を働いて居てくらつせね、惡いやうにはしねねから」と涙を流して一同の者に賴む「そんならそれで宜うございます、御賴み申しますから、何卒宜しく」と將門山へ集つた者は、バラ〈〈居村を指して立歸りました

電話開通九五五番 生薬麥 東京庵 壽町三丁目

◎胃病は萬病の本なり（獨國醫學博士ボアース氏の格言）

胃活錠とは胃活を加減して新藥を加へたる胃の錠劑也試まる

定價（胃活錠）一瓶、五十錢、廿錢（胃活）一瓶、六十五錢、四十五錢、廿五錢、十錢

本舗 東京銀座一丁目山田安民藥房 大阪南久寶寺町貳丁目山田安民藥房 有名藥店にあり

電話開通九三三番 旭町四丁目 森安洋家具工場

電話開通 九九七番 京城本町五丁目 富士の里茶舗

電話開通九一八番 京城長谷川町二丁目 鼎商會

廣告

診察所 京城理事廳前電話八八〇番 池田内科小兒科醫院 療養所 旭町二丁目白耳義領事館隣（元伊國領事カナヂ氏跡） 統監府通信管理局囑託醫學得業士前漢城病院内科主任 池田季雄

シガレット・ブドウ酒・ブランデイー・洋菓子・菓物カン詰類・シャンピン・ウ井・スキー・キリンビール・タンサン水 卸小賣 直輸入商 京城本町三丁目 辻屋 本店電話二四八番 支店電話三六六番

▲美術半衿帶上衣他紐類各種　京城南大門通一丁目　允るり德商店

結婚論

京城新報

離婚談々

希伯來人は人世の創始を歌ふて曰く、人類アダムがエデンの花園に憩かるゝや、園には百花爛熳として咲き亂れ、百千鳥は美聲を放て囀づり、美味なる果實は累々として熟し、前には涓々たるユウフラテの清き流れあり、アダムは此清く麗はしき桃源の中に於て美味に飽けり、アダムの快樂や到底言語に現はし得ざるものならんと思ふに、何ぞ圖らんアダムは斯る樂園に逍遙するも腎快として樂まず、常に孤獨寂寞の情に堪へざるもの〳〵如し、茲に於て神はアダムの心事を察してエバなる異性を與へたり、アダムは茲に始て慰安と快樂とを得て喜べりと之れ希伯來詩人が夫婦の創始及其情交を歌いたるものなり、一夫一婦は眞に人倫の要素なり、總ての人事は此要素より起り來るなり、恰好の伉麗相親みて一躰となる、人生の意義始めて茲に鮮明となるなり、然る如現代の結婚なるものは此神聖なる意義を沒却して不倫に陷入るもの少からざるは寒心の至りに堪へず、既に結婚なるものが人倫の要素なりとせば之を重せざるに於ては總ての人事に破亂を起すは當然なりとす此源にして清からざれば政治も經濟も文學も圓滿に行はるゝ筈なし、一國の富と云ひ貴本と云ふも、畢竟此夫婦なるものが勞役したる所の蓄積なり、之を以て夫婦の人倫にして破壞するに於て人世の進歩を害すること甚だし、識者は大に思を茲に馳せざるべからず、

而して日本の現狀を見るに甚だ悲ひべき現象あり、或者は云ふ、日本は今や過渡の時代にして結婚の亂態は免るべからず、舊時代の厭制的結婚將さに廢れんとし一方に於ては其反動として極端なる自由結婚起り來るも、之れ暫らくのみ漸次に好き調和を得べしと、思ふに此說は甚だ樂觀に過ぐ、現時の日本の如く社會の制裁が鈍弱なるに於ては此儘に放棄し置きては好き調和は得られざるなり、見よ社會的制裁の薄弱なると結婚を重せざる結果は悲痛極る離婚問題の頻々として起るにあらずや、嘗ては大隈英麿氏の如き、建部博士の如き、近くは福田博士の如き、音樂師藤井某の如き者之れ結婚を重せざる結果より來れるなり、此等は世に顯はれたる一部にして其世に顯はれざるもの頗る多く歐米人等は夙に驚嘆せるに非ずや、今此等世に顯はれたる離婚問題を見るに夫婦の間は睦ましきも、親たるものが或る事情の爲に其間を斷つ等の如きものの少しとせず、所謂生木を割くものなり、或る者の如きは結婚の當時夫たるものが遠隔の地に行かざるを條件としたる爲めに或る事情により遠隔の地に行かざるべからざる必要あるも行くこと能はず、强て此必要を充たさんとすれば其妻を離緣せざる可らず、現に藤井某の如きは之が爲に其親が斷乎として離緣して引取りたり、元來斯く其親たるものが不條理の行爲をなすも畢竟結婚に於ける親權の强大なるが爲なり、素より親の許さゞる自由結婚は弊害ありと雖も、親權過大にして万事親に依りて決するが如きは甚だ非なり、吾日本の如きも殖民地の增加すると共に人口の移動及び經濟的組織の變化し來る今日に於て夫が遠隔の地に行くが爲めに夫婦間の破鏡を見るが如きは斷じて革めざる可らず、斯る事情の爲めに國勢の發展を害すること甚だ遺憾なり、アングロサキソン族が世界を家として何れの處にも情を家庭を造りて縱々として成効せる氣宇に驚て大に恥づべき也、斯の如き謬想を糾正して世界を家とするの氣宇を養成して吾國勢の發展を計らざる可らず、之を要するに人倫の要素たる結婚をして眞に伉儷相親しむるに至らしめざる可らず、此泉源として清く且つ堅確なるに至て始て一國の元氣は振ひ殖民事業旺盛となるべき也、

東京電報

▲通信官制の改正

統監府通信管理局官制改正の件本日裁可公布さる（廿七日發）

▲越谷鴨場の開場

埼玉縣越谷鴨場開場式は皇太子殿下御臨席ありて同地の歡迎盛んなり（廿八日發）

▲外債不成立の理由

佛國に於ける我外債の成立せざりし所以は巴里に我財務官の駐在無く意思の疏通せざりしためなり（廿九日發）

外報一束

▲清國公使の演說

駐米清國公使伍廷芳氏は昨日平和協會にて一場の演說をなしたるが公衆一般に清國事情には大なる興味を有せる時節なるを以て頗る注意を惹きたり氏は清國の軍備擴張は同國が目下萬一の變に對して國境を防護するの必要に迫れ居るを以て實に止むを得ざるものなりと說き世人の幸に之を非難せざらん事を求めたり氏は又聽衆に向て斷言して曰く清國の目的は全く自立自衛を全うせんとするにありて陸軍の增加も決して攻擊的の意味を有する事なしされば清國民は最も兼て西列强との親交を希望し國內に於ける外國貿易の發展を歡迎するものなりと伍氏の演說は非常に雄辯にして聽衆に深き感動を與へたり

▲東歐形勢成行

墺地利が列國の調停を拒絕したりとの報道は目下の所未だ確められず▲露國外相イスヴオルスキー氏は獨國皇帝の直接命令に從ひ或點に就き譲歩せり▲墺地利ルーメアニ兩國間に締結せられたる軍事協約はセルヴィアに對して有効なり▲サンジャック州に關する防禦同盟協同運動を取る爲め墺地利土耳其兩國は近日中に協約を締結せんとす

▲波斯王國の亂狀

波斯の國民黨は同國プシールに自ら政府を樹立して官吏の罷免を行へり又タブリッヅ地方に近き蔚嗚地に於て激烈なる戰鬪あり國民黨は多大の損害を受けたりと

▲波斯騷亂と英露

英國外相グレー氏は下院に於て波斯の騷亂が露國の干渉せる結果なりといへる所說を辨駁し英國より派遣せられたる英人が露國政改善に援助を與ふるに至らざりし間は波斯政府は實に宇內最惡政府の一なりきと公言せり

▲加奈陀戰艦寄附

ニユージーランド

紳士錄出版の趣意

韓半島の社會的狀態は今尙は混沌たり、社會の舊組織破壞せられて新組織將さに成らんとするの時代なり、所謂破壞と建設との過渡時代なり、故に半島國民も在留外國人も皆此渦中を脫する能はず、從て各個人の信用程度を判別すること容易ならず、之が爲に總ての取引に於て圓滑を缺くの例決して乏しからず、弊社は茲に見る所ありて紳士錄の編纂を企てたり、然るに韓半島全部に亘りて之を調査するには多くの日子を要するを以て當面の急需に應する能はず、茲に於て先づ京城龍山に在住せらるゝ日韓清英米佛獨其他の紳士全体を擧げ豫約方法によりて出版し以て世の急需に應ぜんとす、思ふに京城龍山は目下半島の中心なり、此中心の地に在つて經營の重任に當らるゝ紳士を最初に紹介するは將さに當を得たるものなりと信ず、而して揭載する紳士の部類は政治家軍人官公吏商業家工業家農業家醫師辯護士教育家宗教家新聞記者銀行會社教會寺院倶樂部組合等にして社會の各階級を網羅して漏す所なし、之を以て本書は公私の實務に軌掌せらるゝ諸君には欠く可らざる要書なりと信ず、庶幾くは續々豫約御申込みあらん事を切望す、

明治四十二年三月

京城新報社

雜報

●露國上院議員の來京

既報の如く露國上院議員グレゾメル氏は去る廿七日午前十一時韓國工業傳習所を參觀し和田所長の案內にて教場各工場標本室及寄宿舍等を詳細に一覽し何れも深く感服せるに於て觀察に終つて別室に於て茶菓の饗應を受け殖産の學務の成績を唱揚し且つ其の懇切を感謝せり而して氏は午後長福宮を拜觀し廿八日午前京城出發釜山に一泊し二十九日午前乘船日本に向ふ答なり氏は露國の富豪にて多年工業に從事せし人なるが尙日本にては約半年間滯在すべしと云ふ

●伊藤統監大磯に歸る

伊藤統監は昨日午前十時在清國米國公使館二等書記官リンドハリソン氏外東拓社員重役一同を帶同し韓皇に謁見せられたり

●曾禰副統監帶同謁見

曾禰副統監は昨日午前十時在清國米國公使館二等書記官リンドハリソン氏外東拓社員重役一同を帶同し韓皇に謁見せられたり

●杜選なる調査

（所謂驛屯土取極眞相）

京城通信所報に依れば東洋拓殖會社が引繼ぐべき驛屯土の眞相は世間の風評區々にして其の眞相は容易に之れを知り得ざる事なるが最初驛屯土を拓殖會社に引渡すべく其筋にて調査したる根源は三斗落を一反とし一斗落に付き籾米八斗、一反歩に付二石四斗を得る計算にして玄米は四歩止りとすれば九斗六升なるが之れより得べき純收益は籾米八斗と爲し先日報導せる籾米相場一圓五十錢乃至三圓五六十錢の間を取りて一石二圓五十錢の相場とすれば其金高は二圓にして還元率の一七五を乘ずれば一反歩三十五圓なりとす而して畑田地の價格に對し三分一の償あるものとして會社に提供したるに會社も是を至當なりとして約束したるものゝ由にて其當時の相場よりすれば更に間然する處なかりしものなるも今日の米價は確かに四割方を下落し居るとの事は黑人筋の證言なれば之れを間違なきものとすれば即ち拓殖會社が引繼ぐべき驛屯土の價額は目下の場合四割方即ち約百一十萬圓を減じ皆る次第にして還は米相場の變動より生じて起りたる現象なるが相場の變動は人力を以て如何ともする事能はず後日或は米價の騰貴するときは即ち拓殖會社が利益する時なるべし、某當局者は語れり

●善隣商校夜學卒業式

善隣商業學校にては昨廿八日午後十時より夜學專修科第一回卒業證書授與式を擧行したるが多數の來賓あり卒業生は何れも會員統監府各部會社銀行等に勤務せる日本人廿一名にして校長祭式の旨を告げ勸語を奉讀し卒業證書優等賞品精勤證書並に賞品の授與をなしたる後一場の告辭をなして來賓は閲覽の結果二月より本月に至る一箇月間に害為物は開戰當時の損害を蒙ひる者にして近々取扱法規發布さるべし（以上廿九日）

●漁業出願の心得

日より施行さるゝ韓國漁業法に依る出願者の心得べき要項左の如し

（一）日本人より差出す漁業類其他の書類は漁場區域を管轄する理事官を經由すること

（二）日韓兩國人共同出願の場合に於ては願書は其代表者の應する國の官廳を經由せしむること

（三）漁場が二以上の管轄區域に涉るときは願書其他の書類は其の漁場の大部分を占むる區域を管轄する理事官又は地方長官を經由すること

（四）委托許可漁業の出願ある場合に於て漁場が二以上の管轄區域に涉るときは其の事務所は漁場の大部分を占むる區域を管轄する理事官又は地方長官に於て許可の處分をなし破に歸らるゝ由其筋に電報ありたりと

●伊藤統監大磯に歸る

伊藤統監は昨日午前十時在清國米國公使館二等書記官リンドハリソン氏外東拓社員重役一同を帶同し韓皇に謁見せられたり

●杜選なる調査

（所謂驛屯土取極眞相）

京城通信所報に依れば東洋拓殖會社が引繼ぐべき驛屯土の眞相は世間の風評區々にして其の眞相は容易に之れを知り得ざる事なるが最初驛屯土を拓殖會社に引渡すべく其筋にて調査したる根源は三斗落を一反とし一斗落に付き籾米八斗、一反歩に付二石四斗を得る計算にして玄米は四歩止りとすれば九斗六升なるが之れより得べき純收益は籾米八斗と爲し先日報導せる籾米相場一圓五十錢乃至三圓五六十錢の間を取りて一石二圓五十錢の相場とすれば其金高は二圓にして還元率の一七五を乘ずれば一反歩三十五圓なりとす而して畑田地の價格に對し三分一の償あるものとして會社に提供したるに會社も是を至當なりとして約束したるものゝ由にて其當時の相場よりすれば更に間然する處なかりしものなるも今日の米價は確かに四割方を下落し居るとの事は黑人筋の證言なれば之れを間違なきものとすれば即ち拓殖會社が引繼ぐべき驛屯土の價額は目下の場合四割方即ち約百一十萬圓を減じ皆る次第にして還は米相場の變動より生じて起りたる現象なるが相場の變動は人力を以て如何ともする事能はず後日或は米價の騰貴するときは即ち拓殖會社が利益する時なるべし、某當局者は語れり

●善隣商校夜學卒業式

善隣商業學校にては昨廿八日午後十時より夜學專修科第一回卒業證書授與式を擧行したるが多數の來賓あり卒業生は何れも會員統監府各部會社銀行等に勤務せる日本人廿一名にして校長祭式の旨を告げ勸語を奉讀し卒業證書優等賞品精勤證書並に賞品の授與をなしたる後一場の告辭をなして來賓は閲覽の結果二月より本月に至る一箇月間

●戚南の飢饉後報

戚南文川郡地方に於ける飢饉狀況の後報を聞くに飢饉區域は稍廣大なるもその被害に因る生活狀態は世間傳ふる如き慘狀に非らずしてシカモ義捐金を以て之れを救濟して尙剩餘金ある有樣なるに依り內部は適當の手段として義捐金の剩余を保管し一方播種期に於ける種子を貸付け更らに免稅すべき地方は度支部と協議の上適當の處置を執るべしと云ふ

●內部官吏の義捐　內部官吏は戚南文川郡の饑饉に就き高等官以上は月俸の百分の一、判任官は二百分の一を醵金したるが其の金額は百十三圓七十五錢五厘又大韓醫院職員一同よりは金三十四圓十三錢を義捐す

●木內農商工部次官の出發　木內農商工部次官は村田技師並天會計課長を隨へ昨日午前南大門發列車にて平壤に出張す復四日間の豫定なり因みに來京中の工學博士和田維四郎氏も同次官一行と共に同地に向ひたりと

●度量衡器の賣行　農商工部が各道に配布せる度量衡器は目韓人とも需用者多く先日購買したる同器は五月初旬到着の筈なるが一二ヶ月にて賣盡すべき拔樣なりと云ふ

●民團諸員懇話會　仁川民團諸員懇親會は去る廿八日午後二時より八坂樓に於いて開催し筑前琵琶編引等の餘興あり頗る盛會を極め午後十時散會したりと

●兩技師仁川視察　仁川地方農務視察のため統監府特許局技師千島六之助、河野芳之助の兩氏は昨日仁川商業會議所を訪ひたる後釜山原農園其他の視察をなしたりと

●小學生修業旅行　京城第一小學校生徒三一六名は教員引率の下に修業旅行の爲め昨日午前九時仁川に至り市中を觀覽したるが仁川民團よりは紀念繪葉書を寄送したり

●測量課員協議會　度支部測量課全州支部、平壤出張所員は目下度支部にて會議中なるが上京調査に就ての準備中なりと云

●釜國學校卒業式　官立漢城高等學校は午前二一九日午後一時より同高等女學校は午後一時より卒業證書授與式を擧行せり

●人口の人口增加　京釜沿線人邱の人口は黑人筋の人口增加

●學校令不備補足　官立漢城師範學校同外國語學校及各地方公立各學校令中不備の點多からざるを以て學部に向つて極力運動を試みつゝありと傳ふる正二品孫海日は觀察使に仕官せん目的を以て金貨三千圓を準備し內部大臣朴齊純氏に入所せしむ尙其他の地方者は四月十五日入所し三ヶ月間の教習をなさしめ地方勤務に配置すること

●募集日本巡査の教育　本日巡査五十二名の中二十二名は前職員にして退職後未だ一ヶ年を經過せざるもの〳〵如し

近事片々

▲此頃秋戾たる寒氣は亦消へて春暖頓に加はりぬ此分にて桃李の花信も近からむ

▲桃李　嬰ふて咲き亂れる頃は人情油然として人類亦活氣を帶ぶ從て陽靈は充滿せん

▲甕　を提げて微吟しつゝ南山に登る人多し春は人間の自然に親しむべき時季なり

▲長唄　會も漸次に繁昌し來る西湖先生の如きは得意の新作をものして寄せられたり

▲斯る清き娛樂は殖民地に於ては最も歡迎すべし或點に於ては宗教の說教にも優る

▲娛樂　は人生に缺へ可らざる從て娛樂の撰擇は最も慎むべし斯して趣味を高尚にせば

▲趣味　の墮落は風紀の壞敗を防ぐ最も清新なる娛樂を供する者を以て第一とす

▲多少　文字ある者に取ては文學會の如きものを設くるもよし而し娛樂的なるを要す

▲文學　は社會の淸凉劑なり清き文學は社界の興奮劑なり青年の娛樂として最も上乘

▲彼斯　の國亂は益々險惡となれり世は露國の干涉を以て却て弊ありと認むるは非乎

▲露國　は軍隊を動かして之を鎭壓せんとす然れども暴民は益々亂擾して底止せず

▲英國　外相グレー氏は下院に於て彼斯の國情に就て最も痛切なる言辭を以て說明す

▲其言　に曰く露國人民にして國政改善に壹力せざる以上は完全なる改善は難き也と

▲ルーズベルト氏の歐洲及亞弗利加行に就て世人は一の特使たることを暗に認識す

▲然り　其行何等の使命を帶びざるもルベルト氏の如き偉人の行は大使以上の効力あらん也

▲駐米　清使伍氏は紐育に於て南國の軍備に就て一場の大演說をなせり渠も中々機敏

▲其言　よ處は甚だつまらなきも米國人に取ては意外に有卦たり隅に置けぬ外交家

▲南國　に於ては目下頓に滿漢人間の反目增加しつゝあり

▲滿人　のみ朝廷に勢力を得て漢人に勢力なきが禍の原因速に調和するの必要ある也

公人私人

▲加古貞太郎（陸軍教授）廿八日入京巴滿館

▲上林敬次郎（度支部書記官）同上山本旅館

▲堀謙二（元山財務監督局長）廿八日歸任せり

▲松本重敏（木浦理事官）同赴任の途に就て

天氣豫報（自廿九日午後六時）

（至三十日午後六時）

最高溫度　最低溫度

（華氏）四七、三　三三、三

廿八日

雜報

●東拓上役の分取主義

▲不公平なる配給▲

▲可憐なる万骨▲

東洋拓殖會社の事業たる素より營利的事業には違ひない營利的事業であるから利益を得るまでは薄給に甘んせよと言ふのも聽なへた話であるが夫れならば夫れのやうに家長だとて矢張り雇人と同樣に多く働かすして不自由を忍ぶのが至當ではあるまいか然るに課長の如きは四十圓内外の下宿住居をなしながら尚ほかつ七十圓の舍宅料を受け居るのに拘らず下給者たる書記屋員等に於ては下宿の間代の三分の一にも充たざる配給を受けて僅かに汚なき會社の一隅の冷めたき▲空板間に雑魚寝しつゝありと云ふに到つては何んぼう憐れの次第ではないか彼等の中には相當の收入ある職を抛擲して東拓に入つたものもある然かも彼等の多くは決して今日の如き悲慘たる境遇を豫想してゐたのではない唯だ社會の人氣をあつめた東拓が如何に有望なるかを夢想しつゝ別に給與例等の指示をも受くる事なく茫然として起つたのである然るに入社後數日にして漸く交付せられた彼等の辭令はどうであるか、彼等は等しく其の餘りに薄給なるを驚くと共に將來を思ふては▲尠からぬ不安の念を生じたのである▲憐れむべき萬骨よ汝等の肉枯れ力盡るの時は即ち一將功成るの日なるかを思へば我輩は悄然として同情の念に堪へぬ。

●饂飩屋の主婦(一)

▲老いて益々旺なり

▲孫のやうないろ男

理髪廳前の通りを真直ぐに長谷川町の交番所に向けて進むと通りの街端に右角に當つて酒さかな饂飩うどと記した角行燈の影淋しき一軒の饂飩屋がある一階家と云つてもバラック建ての極めて粗末な家ではあるが毎夜十一時から先きさなると千客萬來の大繁盛を極めて一晩の收入が時には十何圓といふ小店としては不相應な額に上ぼる事があると聞いては聊か不思議のやうにも感せらるゝが底には蓋もあれば實もある話しで或る物好きの某氏が内探せし處によれば元來同家の主人と云ふのは最早や五十の坂も二三年前に越したといふやうな媼さんであるが此の媼さんなかゝの好色者として二三年前徳亭主に捨てられてからといふものは、宛然檻を放れたヒヽ同樣に雑れ彼れの容赦はない男でさへあれば摘まみ喰ひをやらかしたいばつかりに何處でコマした資本ぢややら何時からとも覺ねぬが遂々饂飩屋を開業した(つゞく)

●酒井政平召喚

●京都裁判所へ

京都に滞在して自家の破綻を知らざるもの〻如く豪遊に憂身を窶しつゝありたる酒井政平は或事件に因り京都裁判所へ召喚され取調を受けたりとの事なるが同人の申立樣によりては當地の人々に少からざる迷惑を掛くることとなるべしと云ふ。

●韓人夫の壓死

▲一名は即死一名は重傷▲

仁川花町二丁目理築土砂採取場に於いて數名の韓人夫作業し居たる所昨日午前十時頃前面の土砂崩壊し來り二名の韓人夫は無慘にも其の下敷となり一名は即死を遂げ一名は重傷を負ひたり

●暴徒二千圓を強奪

前判審洪

漢城は過日來京畿道揚州郡德治郷宅に宿泊中數十名の暴徒來襲して洪の所持せる金貨二千圓を强奪し剩へ暴行を加へ兼ね間數き有樣なるを以て京城に避難したりと

●飛んだ寃罪

瓜田に履を入れず梨下には冠を直さずとかや京城明治町二丁目百〇三番地福田清七(三)は一昨二十八日午後三時頃駱洞統戸未詳韓妓崔英根方に娼妓を素見して其儘立ち歸らんとせしに意外にも同家の主人崔英根は突然福川を捉らへて濫突の戸を破損したるは汝なるべしと食つて掛り結局警察署に同行して其筋の裁許を仰ぎしが右濫突の戸を破損したるは福川にあらずして實は日本人多數の素見客ありて中に多數の兵士交り居たれば或ひは兵士の仕業ならんかと判りて事濟みとは馬鹿々々しき一件。

●醉餘の亂暴

花園町四十七番地建具製造業梶岡熊藏が一昨二十八日午後五時三十分龍山板倉町加藤某方に送るべき西洋戸棚一個を擔ぎ出し明治町藤田合名會社前の路傍に休息し居りしを折柄通り掛りの伊藤組車夫越知常一(三)同時吉才藏同小林七郎兩地組車夫西村彌四郎の四人が酒酔に乘じて該戸棚を足にて轉倒せしめ破壞したりとて双方喧嘩を惹起したりしが結局西村外三名の加害者より修繕料二圓を支拂して事濟みとなれり

●暴徒巡査を拉去す

全南順天署

の韓人巡査は去る二十日興陽郡に於て暴徒の包圍を受け拉去せられたる由は既報の如くなるが又蔚尚南道晋州巡査駐在所勤務韓人巡査某は去る二十五日三嘉に於て暴徒の爲めに拉去せられたりと

●脱監囚徒の護送

仁川警察署坂下

今井石川の三刑事が本月八日の夜仁川海中に於て捕縛したる釜山監獄脱監囚徒にして京仁に於て窃盗を働きたる岸本松藏(三)は昨日午前今井石川の兩刑事に護せられ釜山警察署に送られたり。

●蝙蝠買ひの失敗

癩烏縣人當時京城日の出町百二十四番地無職北郷松四郎(三十)といふは一昨日午前一時頃駱洞日統一戸李德根方へ蝙蝠買ひに赴き該宅後貯布の紛失せるに驚き再び同人宅に押し掛け主人に面會して自分の歸宅したる後其部屋に貯布の落ちを居らざりしや否やを詰問したるに李德根は女等と共に口を揃へて決して那麼物は落ちを居らざりし由を答へたれば北郷に大ひに怒りて突然李德根の面部を殴打して負傷せしめ其儘其筋へ引張られたるが將來を懲戒せられし放逐せらる

●旭町の迷子　旭町一丁目川島方屋八梶原とも名る一昨日午後三時頃四才位ひの女の兒の路頭に迷ひ居るを發見其筋に同行して同女兒は明治町一丁目栗田清太郎長女さゝね(二)當時南大門外御成町馬車挽外野竹次郎が頗り居る者と判り召喚の上引渡

●仁川のボヤ二件　一昨二十八日午前十二時頃仁川内洞張在暢方の溫突の煙突より出火し將に一大事に至らんとせしも漸やくして消し止め又昨日午前九時頃地番洞金週學方の煙突より發火し家屋裏に燃え移らんとせしも幸に大事に至らしめず消し止む

●韓國問題　韓國新聞社

大内鑑三氏は今回「二十五年會に於ける韓國問題」として一書を著はし目下上梓中の由なるが同書は(一)韓國政務に關する私見(二)居留民團法中改正法律案(三)韓國横貫鐵道敷設に關する建議案(四)海外輸入米課稅問題(五)韓國經營に干する質問等を採錄したるものにて苟くも意を韓國問題に用ふるの士は一書を購ふて机上にするの必要あるべく代價は一部金六十錢郵稅金六錢にして申込所は東京京橋區鎗屋町八番地工友社

●韓語獨習

韓語

チョーソンスイヨン居

ホーランキカー、イツツ

ハムキ、タドーヌン、マーニツツ

サースミー、イツツ

ニエー、イツツ

ソーワー、マーリー、ウツトムニツカ

ソーヌン、イクコマ

ールン、ハビルト、オプソ

●演藝

▲座本日の藝題は村井玄齋作「深山の美人」にして一座の最も特意とする劇なる由場割及重なる役割は左の如し

堺割(一)丹澤山中(二)同黒山登の助

隠家(三)八王子旅舍(四)小間物屋下女(日東)

(五)園子坂　役割　輕井日雄(西)　モグリ　鶴(稻葉)　(上田)　(今野)　(小才)　(三輪)

●朝顔棹子の分與

紀伊國北牟婁郡錦村櫻井隨花園に於ては例年の如く自家栽培の朝顔種數百種中より左の十種(十卷)を撰擇して分與すべしと云へば愛學の諸君は郵券十八錢を添へ申込まるべし

種類(一)百千鳥(二)黒龍(三)地球(四)浪花海五(五)鶴(八)天の橋立(九)羽衣(十)さゝれ石

●新聞社の大競爭

朝鮮日々新聞社に於ては來る四月三日の神武天皇祭を期し京城各商店員の慰勞會を兼ね東大門外訓練院の廣場に於いて自轉車及徒歩の大競爭會を催ふす由時候拘定めて盛況を呈すべし

●醫師規程

●旅費規程の發布

昨日官報を以て醫師歯科醫師藥劑師及賣藥取扱人の旅費規程を發布す

●内相と仕官運動

●内相は仕官運動を禁ずることゝせりと

●警察官練習所

當時忠州郡に居住せ

▲御渡韓紀念章

渡韓紀念章賜與に付勅令にて發布せらる

▲救恤取扱法規發布

個人損

廣告

家屋典當契約證紛失廣告

西署整石坊米屋下契牟泉洞九十七統一戸

一瓦家三十八間半

右持主金應鉉との典當契約書一通明治四十一年八月廿一日より同四十二年三月廿九日迄の間に於て紛失致候間此段廣告候也

南大門通三丁目四十五番戸　和田常市

生徒募集

簿記學速成教授　規則書郵券二錢

但一人毎に教授す何時入學するも差支なし

新式官廳簿記學教科書　代五十錢

京城齋町二の三七　京城簿記學校

内科　外科　小兒科

◉森田醫院

第一小學校前

電話九一三

京城日の出町

電話九一三

京城日の出町二丁目

爲春堂醫院

元贊化病院副院長　古城俐吉

電話開通九二八

電話開通九五九

京城本町三丁目

辻清和洋金物商店

電話開通九五四

京城明治町一丁目

文房具雜貨商　小林民商店

電話開通九九〇

京城大和町二丁目

青雲亭

電話開通九九一

京城明治町二丁目

金銀細工商　高木二樂堂

電話開通九六九番

新調表替

横井疊店

京城齋町三丁目(齋座前)

韓國官報

來ル四月一日ヨリ賣捌配達開始仕候

電話開通九六九番

市内配達共　一ケ月前金六十錢　一ケ月前金一圓六十五錢　一ケ年前金三圓二十五錢　一ケ年前金六圓四十錢

地方郵送共　(代金は必ず前金可申受候)

盛文堂

京城大漢門前

(電話四二六番)

東京火災保險株式會社

明治十年創立資本金一千萬圓

日露戰爭火災保險業の嚆矢

代理店　山口吳服店

事務所　京城本町二の三電話九番

京城理事廳認可

京城龍山紳士錄

總クロース金文字入

定價　一部　金五圓

豫約特價前金壹部　金參圓

申込締切期日　五月十五日

送本期日　六月十五日

登載事項

政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、律護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者、銀行會社、學校、教會、寺院、協會、倶樂部組合

豫約申込所

中署麗橋越後中央生盛

南大門通義泉書林

北署安洞大滙書館

新王城前盛東書堂

本町二丁目日韓書房

發行所　京城新報社

京城西小門通り

本紳士錄(交詢社式)には京城龍山在住の日韓清英米佛獨其他紳士の全體を網羅致候へば公私實務者の坐右に欠くべからざるものに有之候

豫約募集

京城龍山は韓國の中心なり此中心に在つて半島經營の重任に當らるゝ紳士の紹介を爲すは本書なり

豫約募集

▲無料紹介欄▼

大半部

求職 英語語及簿記に熟達す官社官廳事務に經驗あり身元確實 新橋通一の一沖方・伊藤勝治

裁縫・刺繍・編物・造花・摘紅工等御望みに應じ教授申候 太和町二丁目百六番地八 技藝女塾（一九九）

山口縣人懇川常之進氏の消息を知りたし御承知の方は當欄迄御通知被下度願 姓名在社（二〇二）

下女入用 身体壮健なる者月俸金拾圓迄に給與す 姓名在社（二〇五）

店員入用 商業に經驗有る者麗物業に從事したる人なれば望む 本町五井上履物店（二〇六）

物件部

呼よき電話讓渡 本町一丁目 小川勝平事務所

貸地 旭町一丁目見晴よき地四十坪あり 京城清國領事館通 清輪洋行

電話讓渡したし 社内中村

電話讓受けたし 本町一丁目 小川勝平事務所

廣告

▲清潔の下宿▼ 客室の清潔と調理の美味と御撥の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候 壽町二丁目十番戸横小路（元花屋跡） かめ屋

▲懇切下宿▼

公債貯蓄勸業 **債券讓受** 御不用の御方は各銘柄精々高價申受 京城長谷川町二丁目富田屋内電七二二 齋藤

澤龜 醇良清酒 大阪府堺市 宅舍名會社釀

裁縫專門教授 明治町三丁目百三十一番戸に裁縫專門教授の家塾を來る四月一日より相開き候に付ては懇切丁寧に御教授申上べく入門御希望の方は當方に付御尋ね被下度塾則及び教授科目書等御高覽に供し候 京城明治町二丁目百卅一番戸 裁縫專門 和洋料理 **教授 野村さわ子**

明治町貳丁目七十五番戸 電話三五四番 **辯護士 岩田仙宗**

春季大賣出

來る四月一日より五日間寄裂及び見切反物をも澤山取揃る御覽に入れ候間何卒不拘多少御用命被成下候樣伏而奉願上候

三月 京城本町二丁目

三越呉服店京城出張所 電話三五二二番

諸傘並に提灯類印入 和洋蠟燭あり 京城明治町一丁目 **大島商店**

九州セメント 今回大割引を以て販賣仕候間御用命被下度候 京城南山町一丁目電話三四四番 **山村商店** 麓山元町二丁目電話三二二番 **林藥店**

測量製圖器械及房具部 京城本町一丁目郵便本局前（長電話四六八番） **篠崎半助本店**

平壤南門通二丁目（長電話三四一番） **篠崎半助支店**

本店に於て發賣する測量製圖器械は韓國人使用器械の元祖にして尤も韓人に適するものなれば小賣希望の方は特別の御相談に應ずべく尚御一報次第御賣價格表御送附可申候

石炭直輸入卸小賣 ●精撰塊炭 ●上等塊炭（海軍御用炭）（鐵道御用炭） ●荒塊炭 ●切込炭

弊店の石炭は自已炭鑛よりの直輸入なると以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候間目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候

赤阪口福母炭坑賣炭部 韓國京城南大門西側 合名會社範多商會韓國代理店 合資會社大阪鐵工所韓國代理店 **長醫商會韓國出張所** 電話長（八二九番）

萬命大 特約販賣自製

濱味噌醬油製造元 京城本町五丁目 **大上商店**（電話二五一番）

和洋酒、糖類、穀物、麵類、飴茶、鑛物、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米糠、塩辛各種特約販賣 尚御望に依り商品切手讃進仕候

大見切賣 金口卷莨各種 エヂプト卷莨

弊店儀營業上の都合に依り來る一二十五日より三月三十一日迄（卅五日間）現在品悉皆各國産煙草大見切安直を以て（但し現金）御高需に應し候間此際陸續御用命の程奉願候

二月二日 本町一丁目 トルコ煙草商 **日希商會** 各位

官營無煙炭大々的直下 一噸（十二俵）九圓九十錢 一噸（十二俵）八圓五十錢 但弊店渡し 但弊店渡し

一塊炭 一切込炭 御屆けすれは持込賃費及ひ叺代又は叺俵料申受け候 其筋の御指定に依り右の通り直下け致し尚ほ區内各所に申込所設置仕候間便宜の場所へ御申込被下度自然前記價格より高價の申出て を爲す者あるも指定價格通り御仕拂可被下候也

平壤官營無煙炭特許一手販賣人 南大門外古市町青柴道 **苦米地造酒彌**

小食堂開始 ◎輕便にして佳味なり◎ ◎洋室日本室の設備あり◎ 入口は京城ホテル裏通りにあり

元日本人倶樂部 京城ホテル **小食堂** 長電話一二三番

京城曙町（電話六八四番） 玄武監府御用 宮内府御用 軸物 額面 襖張式 壁張 天井張 **石川表具店**

銘茶 京城三丁目 **西洋料理 東京高輪壽し 會席料理 丼類いろ〳〵 折詰辨當** 同サンドーウヰッチ 南大門停車場構内 エーテー淵田 電話六八七番

讀み玉へ最廉價なる 京城佛領事館通 **大阪日報** 一ヶ月 廿錢 **大成社**

日本郵船會社 電話十番 **汽船出帆廣告** 仁川海岸通 **郡回漕店** 貨物及船客取扱店 電話三九番

●大連行（船客御願） 新潟丸 月 日正午時出

●釜山・元山・清津・浦鹽行 山東丸 四月 十一日後三時出

●大連・太沽・牛莊行 高砂丸 四月 廿二日正午時出

●大連・大沽・牛莊行 由良丸 三月 三十日前五時出

●大連・大沽・牛莊行 酒田丸 四月 八日正午出

●釜山・元山・清津・浦鹽行 立神丸 四月 七日午後

御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船注意 御送迎船ニテ御送り可申候 船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ●廣告料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金壹圓 ▲二ヶ月前金貳圓 ▲三ヶ月前金參圓 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢 ▲廣告五號活字十九字詰一行金十錢 ▲廣告五號活字十九字詰一行金十錢 ▲廣告五號活字十九字詰一行一回四十錢 ▲廣告五號活字十九字詰一行金十錢 ▲廣告五號活字十九字詰一行一回四十錢 ▲廣告五號活字十九字詰一行金十錢

發行所 京城新道 電話六三番 印刷人 高木久馬 發行人 秋山忠三郎